

令和4年第2回定例会総体質問通告事項

3 月 8 日	宮地寛行議員（青嵐会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 職員のゆとりについて</p> <p>(1) 移住対策も定住対策も行う。ではなく、移住対策はやめてその予算や労力を定住対策にシフトしていけばいかがか</p> <p>(2) 少子化対策も広く浅くやるのではなく、ターゲットを絞った政策を展開してみてもいかがか</p> <p>(3) 現場で実務をしている職員の方から、新しい発想や新たな事業展開ができていないのはどこに原因があると考えるか</p> <p>(4) 新しい発想や新しい事業展開を提案してきた職員、あるいはその事業展開を任された職員などに対しては、何かしらの評価とか対価はあるのか。あるのであればどのようなものか</p> <p>(5) ないとは思いますが上司の方が新しい発想や新しい事業展開を阻止しているという事はないか</p> <p>(6) 現場で回している仕事が忙しすぎて、新しい発想が出にくい環境にあるという僕の考え方に思い当たる節はないか</p> <p>2 「子育てするなら尾道」の看板を外せ！</p> <p>(1) 「4月の段階では待機児童ゼロ」というのは真っ赤な嘘！それは役所が自分たちの都合の良い指標を作りだしているからであって、実態の市民目線とはずいぶんとかけ離れている。チェックする側の議会がわかりやすい指標を提案するので、来年から導入してみてもは？</p> <p>(2) 誰もが第一希望の保育園に入園できるようになるまで、「子育てするなら尾道」の看板を外していただけませんか</p> <p>(3) 働いている保護者が、4月の段階で子どもを預けられないという状況なので、「子育てするなら尾道」の看板を外していただけませんか</p> <p>(4) 年度中途でも、保護者が希望する保育園やこども園に待つことなく、入所できるようなアイデアが、執行権を持っている職員の方から出てこないのが不思議に思っています。課題解決されていないのに、何年たっても提案されないのはなぜでしょうか</p> <p>(5) 第三希望の選択枠をなくしませんか。尾道市の職員なら、せめて第二希望までの希望する園に入れるんだ！という強い意気込みを持って今年度から働きませんか</p>	

3 月 8 日	<p>(6) 行政がコントロールできないのであれば、因島北認定こども園は尾道市直営に戻すべきと考えますがいかがでしょうか</p> <p>(7) 時間はかかりますが、A Iを廃止し、職員が一つひとつ審査をするというふうに戻した方が良いのではないのでしょうか</p>
------------------	---